でいご
発行：沖　縄　二　火　会
（海上自衛隊第５航空群支援団体）
印刷：新　栄　印　刷

## 新年のご挨拶

第5航空群司令
海将補　平木 拓宏

沖縄二火会をはじめ各自衛隊協力団体の皆様、第５航空群の隊員及びご家族の皆様、そして「でいご」をご覧の皆様、明けましておめでとうございます。皆様と共に、新春を迎えられたことを心から嬉しく思っております。

旧年中、皆様におかれましては、防衛意識の普及・高揚活動にご尽力いただくとともに、我々の任務はもとより各種活動や行事等に対して、深いご理解と温かいご支援を賜り、第５航空群を代表して厚く御礼申し上げます。

昨年、創立52周年を迎えた第５航空群は、平素からの常続的な警戒監視・情報収集といった業務に加え、年末には、通算22回目となるソマリア沖アデン湾における海賊対処行動へ隊員を送り出し、現在も任務達成に邁進しています。

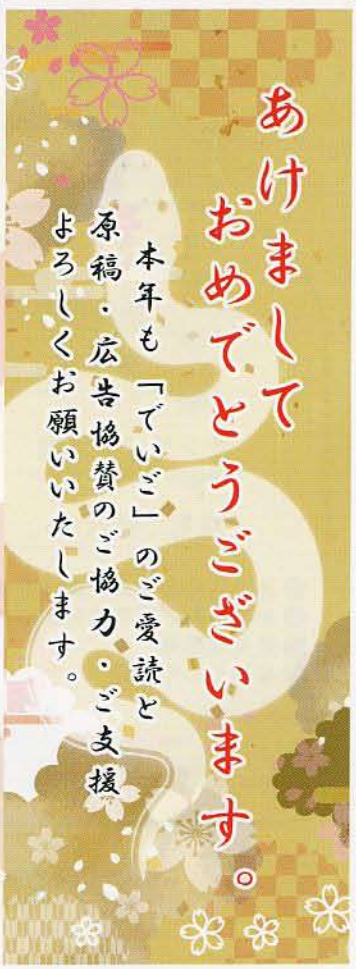
また、創立記念行事や、沖縄本島をはじめ、宮古島・石垣島・与那国島を含む沖縄県の小中学生等への雪・南極の氷のプレゼント、首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」への参加等、地域の皆様との交流を深めることができました。

これら各種行事の実施にあたり、沖縄二火会をはじめとする関係各位から多大なるご支援・ご協力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は、南シナ海における力による一方的な現状変更や、ロシアのウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ情勢などに象徴されるように、戦後最大の試練の時を迎えています。このような情勢下においても、第５航空群は、「地域とともにある部隊」として、地元・周辺自治体との相互支援、連携強化に努めつつ、皆様の安全・安心を護るため、自らの職務に誇りを持ち、一致団結して、皆様の負託に応えていけるよう、任務に邁進する所存です。

第５航空群が責務を完遂していくためには、第５航空群隊員のみの努力では困難であり、沖縄県民の皆様をはじめとする国民の皆様のご理解とご支援が必要不可欠です。皆様におかれましては、本年も変わらぬご理解及びご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 年頭のご挨拶

沖縄二火会　会長　佐久本 武

海上自衛隊第5航空群の隊員及びご家族の皆様並びに本紙「でいご」をご愛読戴いている皆様、新年明けましておめでとうございます。

輝かしい令和七年の新春を、共に健康に迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、元旦の能登半島地震から始まり、大災害がいつ何処に起こっても不思議ではない現実を知ることになり、また、自衛隊の哨戒ヘリコプターの衝突や掃海艇の火災などの事故発生により、海上自衛隊の皆様の任務の厳しさをあらためて感じた年なりました。

またそのような中、第5航空群は開隊以来52年間無事故を継続していることを伺い、歴代群司令以下隊員の皆様が並々ならぬ努力を積み重ねて来たことにあらためて敬意を表する次第であります。

さらに防衛上のパートナーであるアメリカでは大統領選挙が行われ、前大統領であるドナルド・トランプ氏が再選されました。これによりロシアのウクライナ侵攻、イスラエルと中東の周辺国との紛争に加え、我が沖縄県の隣国台湾から尖閣諸島周辺までを自国領土と主張する中国やロシアへ武器・兵士を提供する北朝鮮等との関係性が今後注目されます。

そのような世界情勢の中においても、力による現状変更を望む国から領土を守り、国民・県民を保護することが自衛隊の使命であり、我々も第5航空群をはじめとする陸・海・空自衛隊の人員・装備の充実強化が重要であると認識しています。

我々沖縄二火会が支援する第5航空群においては昨年8月に着任された平木群司令指揮の下、東シナ海の警戒監視任務に加え、遠くソマリア沖の海賊対処行動等を目的とした航空隊派遣を継続する等の任務に邁進されています。

また、激務の傍らで音楽演奏会や雪のプレゼント等地域貢献活動を継続しており、あらためて第5航空群の各級指揮官及び隊員の皆様に対し心より敬意を表します。

私ども沖縄二火会は、日々厳しい任務を遂行している第5航空群の隊員の皆様が、今後とも我が国の防衛任務に邁進されますよう心よりお祈り申し上げますとともに、ご家族の皆様が心穏やかな生活が出来ますようご祈念申し上げます。

第5航空群の隊員及びご家族の皆様、並びに沖縄二火会会員、さらに防衛関係各団体の会員及びご協力を戴いている個人の皆様方が、健やかで幸多き一年を迎えられますよう祈念して年頭のご挨拶とさせて戴きます。

# 新年のご挨拶

沖縄県防衛協会　会長　國場　幸一

新年明けましておめでとうございます。

群司令平木海将補はじめ隊員の皆様には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

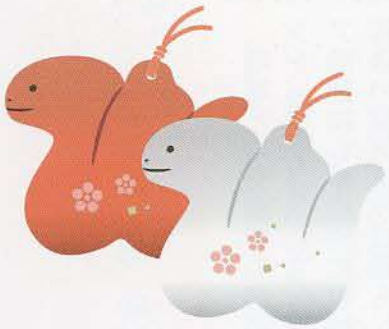
国際的な戦乱のうねりが続く中、昨年８月中国軍機による領空侵犯、９月ロシア軍機による領空侵犯など、わが国を取り巻く安全保障環境もまた厳しさを増してきております。中台情勢の緊迫化、尖閣諸島等への中国の不法行動、北朝鮮の弾道ミサイルの発射等に対して、第５航空群「美ら海の防人」の皆様の、極めて高い使命感と強い責任感をもっての毅然とした警戒・監視、情報収集活動のみならず、沖縄県民にとり必要不可欠な災害派遣及び救難活動など崇高な任務遂行のために日夜身命を賭してご尽力頂いていることに心より敬意を表します。

また、昨年もアフリカのソマリアアデン湾へ「海賊対処行動航空隊」要員として派遣され、国際社会の平和維持の大任を見事に達成されました。

このような防衛活動に加え、平素より海上自衛隊艦艇の一般公開・哨戒機の体験搭乗や、戦没者慰霊祭の支援等数々の行事を通じ、海上自衛隊の活動に対する県民の皆様の理解の輪が広がってきていることを実感しております。

私ども沖縄県防衛協会は、なお一層、海上自衛隊第５航空群の活動を県民に伝え、防衛思想の普及を図るとともに、防衛という崇高な使命に任ずる隊員のための活動を充実させて参ります。

新しい年におきましても、第５航空群が「美ら海の防人」として平木群司令を核心に国土防衛の任務のみならず世界平和のために大きく貢献されますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。




## 海上自衛隊　第５航空群
## 公式 SNS・広報ラジオ「美ら海の防人」

第５航空群公式ホームページ

海上自衛隊 第５航空群では、ＳＮＳを活用した情報発信を行っています。
隊員のオフショットや各種行事などが紹介されています。
「X」や「Instagram」で〔jmsdf_5aw〕を検索し、是非ともフォローしましょう！
また、沖縄県に在籍する陸・海・空自衛隊が週替わりで自衛隊について放送する広報ラジオ「ＳＤＦアワー」で、第５航空群は「美ら海の防人」という番組を担当し皆様にお送りしています。
番組に関するお便り、ご質問要項及び年間放送スケジュールは、第５航空群ホームページで確認できます。
番組で紹介された方には、もれなく海上自衛隊 第５航空群オリジナルグッズをプレゼントします！
下記のＱＲコードからアプリをダウンロードすれば、全国どこでもスマートフォンで聴けますので是非聴いてみて下さい。お便りもお待ちしております。

@jmsdf_5aw

Instagram
jmsdf_5aw

放送局（周波数）
FM レキオ（80.6MHz）/ FM21（76.8MHz）
FM もとぶ（78.2MHz）
毎週金曜日 20:00～21:00
※再放送日（FM レキオのみ）日曜日 21:00～22:00

# 新年のご挨拶

一般社団法人
沖縄海友会　会長　門馬規雄

海上自衛隊第5航空群の隊員諸官及びご家族の皆様並びに本誌「でいご」愛読者の皆様、明けましておめでとうございます。

令和7年の輝かしい新年にあたり、皆様にはご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

海上自衛隊第5航空群隊員の皆様には、年末年始も済々と継続して任務を遂行しておられ、さらに創設以来航空無事故を継続しておられることは極めて高い意識と技能の証であり、改めて敬意を表します。

国際情勢は欧州、中東をはじめ各所に不安定な状況が継続している中、我が国近傍においては力による一方的な現状変更の目論見が随所に見られ、これらに対し関係諸国と連携し法の支配に基づく国際社会を推進すべく、重要性を増している尖閣諸島を含む南西諸島周辺海域の警戒監視任務は勿論、災害派遣などの国民の生命、財産を守る重要な任務に加え、平成21年に開始されたソマリア沖アデン湾派遣海賊対処行動航空隊は、昨年第5航空群から21回目となる第54次要員を派遣するなど、国際社会の平和と安全の確保に継続して貢献しておられます。

昨年は第5航空群創立52年記念行事を隊員の皆様や支援団体の皆様と共にお祝いできたこと誠に嬉しい限りです。

地域との交流でも音楽の夕べ、雪のプレゼント、戦没者献花などに加え、各種ボランティア活動にも積極的に参加されるなど、隊員の皆様の意気込みは頼もしい限りです。

我々沖縄海友会は、沖縄の海軍出身者によって設立された、先の大戦で祖国防衛のために国に殉じられた海軍出身者の慰霊を目的とする法人団体ですが、設立時の会員は高齢となり現在は海上自衛隊のOB、OGが中心です。

毎年5月27日には、海軍戦歿者慰霊之塔での慰霊祭を、第5航空群の皆様のご支援をいただいて海軍礼式に則って厳粛に催行できておりますことに、改めて深く感謝いたします。

また海軍壕の清掃など第5航空群の皆様には、これまでのご支援、ご協力に深くお礼申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

我々沖縄海友会は、今後とも沖縄県防衛協会、沖縄二火会、沖縄四樹の会等他の協力団体と連携し、自衛隊に対する県民の理解を深めると共に防衛思想の普及啓発に努め、第5航空群をご支援して参る所存です。

結びに、第5航空群隊員とそのご家族の皆様、防衛関係団体各位の皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 年頭の挨拶

沖縄県知事　玉城　デニー

はいさい、ぐすーよー、いいそーぐゎちでーびる

新年、あけましておめでとうございます。

海上自衛隊第5航空群所属の隊員及び御家族の皆様におかれましては、輝かしい新春を御壮健にてお迎えのことと御慶び申し上げます。

隊員の皆様におかれましては、南北約400キロメートル、東西約1，000キロメートルにわたる広大な海域を有する島しょ県である本県において、365日休むことなく、「美ら島の防人」として、警戒・監視任務に従事いただいております。

加えて、災害派遣、船舶や航空機の救難など県民生活の安全と安心の向上にも多大な貢献をされております。隊員の皆様の崇高な使命感に心から敬意を表しますとともに、県民を代表して心より感謝申し上げます。

第5航空群の活動は県内にとどまらず、平成21年以降、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動及び情報収集活動にこれまで計21回にわたって派遣され、国際社会における平和秩序の確保に貢献されております。

さらに、県内では、これまで28回にわたって実施されている子供たちへの「雪のプレゼント」や、地域の行事への参加、ボランティア活動に積極的に取り組まれております。

隊員の皆さまが任務を遂行される真摯な姿と地域との交流を通じて、県民の理解と信頼が培われており、引き続き「美ら海の防人」として、その責務を全うされることを御期待申し上げます。

結びに、新しい年が平和で実り多い年となることを願いますとともに、海上自衛隊第5航空群所属の隊員及び御家族の皆様の御健勝と今後ますますの御活躍をお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

くとぅしん、ゆたさるぐとぅ、うにげーさびら

今年も　よろしくお願いいたします。

# 年頭の挨拶

那覇市長　知念　覚

はいさい　ぐすーよー　いいそーぐゎちでーびる。

海上自衛隊第5航空群の隊員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

隊員の皆様におかれましては、日々、国防という責任ある使命に向き合うとともに、ソマリア沖・アデン湾における海賊行為に対処するため毎年、隊員を派遣されるなど、自らの危険を顧みず、国際社会の平和秩序の確保に貢献し続けていることへ深く敬意を表します。

近年、国際情勢の急激な変化に伴い、わが国を取り巻く安全保障環境も益々厳しさを増しております。そのような中、南西諸島近海の海域の警戒・監視のほか、船舶の捜索救難活動や災害派遣など、広大な海域を有する沖縄県及び我が国において、まさに「美ら海の防人」として海の安全及び国民の生命・財産を守るという重要な任務を担っていただいていることに、心より感謝の念を表します。

地域の安全と平和のため尽力されている皆様の姿勢は、本市の推進する、安全・安心なまちづくりにおいても、大きな手本となるものであり、幅広い活動に思いを致しつつ、私も本市の市政運営に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

また、昨年は約40名の隊員の皆様が、首里城復興祭・琉球王朝絵巻行列に参加され、祭りを大いに盛り上げていただいたと伺っております。

皆様は、ここ沖縄の地において、創設以来、地域に根ざした活動を重ね、県民・市民との絆を深めてこられました。このような交流を通じて、これまで築き上げられた信頼と絆がさらに深まっていくことをご期待申し上げます。

結びに、新しい年も我が国のみならず、世界の国々が共に恒久平和への道に向かうことを願うとともに、海上自衛隊第5航空群隊員並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

いっぺーにふぇーでーびる。

# 謹賀新年

## 沖縄二大会役員一同

会長
佐久本武

瑞泉酒造㈱
那覇市首里崎山町一―三五
☎（〇九八）八八四―一九六八

相談役
高橋忠義

第18代　第5航空群司令

顧問
小川徳彌

JASDF沖縄OB会
沖縄市池原一―二四―十七
☎〇九〇―七九二―六一四七

副会長
新里順一

㈱シンテック
那覇市銘苅二―四―五一
☎（〇九八）八六七―一一一一

副会長兼事務局長
後関光利

㈱国際ビル産業
浦添市勢理客三―九―十二
☎（〇九八）八七六―八一一九

理事
上原スミ

スナック朝
那覇市東町一八―四　東町ビル二階
☎（〇九八）八六八―〇四七六

理事
長嶺義哲

㈱仁愛会浦添総合病院
浦添市前田一―五六―一
☎（〇九八）八七八―〇三三一

理事
新垣淑豊

沖縄県議会議員
那覇市首里寒川町一―八一―八
☎〇九〇―四五八二―一四五七

理事
伊志嶺哉

㈱クロックワーク
那覇市牧志二―一九―一〇　松善ビル一階
☎（〇九八）九四一―三九二九

理事
山内明雄

山内コインランドリー
読谷村都屋二六三―一　ファミマとや店敷地内
☎（〇八〇）二六九二―三五一七

監事
具志保嗣

㈱公益社
豊見城市字高安五六〇―一　（セレモニーホールとみしろ）
☎（〇九八）八五六―八一八一

監事
有銘寛之

有銘会計事務所
那覇市金城二丁目二一―二一　高良ビル一階
☎（〇九八）八五一―三〇七二

顧問
野澤操子

㈲三田コーポレーション
那覇市安里三八一―二一　大村ビル一〇二（さくら）
☎（〇九八）八八二―七二〇五

副会長
松川禎

㈲松都建設
那覇市首里赤田町三―四
☎（〇九八）八八四―三三三〇

理事
久保田照子

久保田照子チャームスクール
那覇市牧志二―一六―四六（一〇〇五）
☎（〇九八）八六六―〇五七三

理事
奥村幸定

㈱幸
琉球料理と琉球舞踊　四つ竹
那覇市久茂地三―一五―六
☎（〇九八）八六六―七五一二

理事
三好禎治

MROJapan㈱
那覇市字大嶺二六〇番地
☎（〇九八）八五一―七六六〇

顧問
渕辺美紀

㈱ジェイシーシー
糸満市西崎町四―十六―十六
☎（〇九八）九九二―一六二五九

副会長
渡利久

㈱ジーセットメディカル
豊見城市字与根五〇―九〇―三　ルーツメディカルビル三階
☎（〇九八）八五二―一八二八

理事
迫幸治

全保連㈱
那覇市字天久九〇五　琉球新報天久ビル
☎（〇九八）八六六―四九〇四

理事
与儀哲治

㈱御伽草子
（味と踊りの竜宮城うらしま）
那覇市久米二―一〇―八（新垣ビル二F）
☎（〇九八）八六二―一七六九

理事
神山亮

㈱GOLD・KEI
那覇市三原二―二五―一三―二階
（〇九八）九九五―六六七一

# 新年あけまして おめでとうございます

## 一般社団法人 沖縄海友会役員一同

会長
門馬規雄
（昭和四十七航学二十四期）

豊見城市翁長八四五―一七
☎〇九〇―二五〇二―七四〇五

副会長
入松田元
（昭和四十横練六二期）

宜野湾市佐真下一六二―一〇
☎（〇九八）八九八―三三六

副会長
與儀實富
（昭和四十八呉練一四六期）

中城村南上原七五一―二
グリーンヒル南上六〇号
☎〇九〇―三三九一―四九八一

専務理事
岩村悦子
（昭和五十五婦人六期）

那覇市首里山川町一―四一―一
☎（〇九八）八八七―五二七六

顧問
國吉信雄
（昭和十九志普通）

那覇市識名四―一五―一
☎〇九〇―三六九―九六六〇

理事
小渡亨
（昭和四十七防大二十期）

沖縄市泡瀬四―四三―一
☎（〇九八）九三九―二七四九

理事
濵本久男
（昭和三十舞練十七期）

那覇市高良二―九―五〇
ライオンズたから二〇三
☎（〇九八）八五七―九九五五

理事
古波蔵明海
（昭和四十三舞練九十七期）

㈱古波蔵組
那覇市泉崎一―二二―二
☎（〇九八）九五一―三七三三

理事
名嘉則仁
（昭和四十七横練三〇期）

那覇市字安里四―六八―一
六号棟七一〇号室
☎〇九〇―三七九四―六〇四八

理事
和田克己
（昭和四十五佐練一〇期）

豊見城市保栄茂二五三―二五
☎〇九〇―八八三六―二九二七

理事
與儀政美
（昭和四十五佐練一一期）

八重瀬町具志頭六三六―七
☎〇九八―九九八―九六四三

理事
後関光利
（昭和四十九年航学二十六期）

㈱国際ビル産業
浦添市勢理客三―九―十一
☎（〇九八）八七六―八一一九

理事
新里勇人
（昭和五十七年防大三十期）

那覇市おもろまち
二―一一―八―八〇五
☎〇九〇―一六八四―五七二

理事
野原良信
（昭和五十年佐練一六七期）

那覇市繁多川五―一八―三五
☎〇九〇―九七八七―三三七九

理事
梶原正博
（昭和五十二年佐練一八一期）

那覇市小禄三―一二―八
☎〇九〇―七九八一―九六四四

理事
島袋貞弘
（昭和四十五年佐練一二一期）

今帰仁村字運天九七〇―四
☎〇九〇―一七七―八八七八

理事
藤嶋孝志
（昭和五十三年一般曹候舞教三期）

南城市つきしろ四九九―五九
☎〇七〇―五八一二―九五五〇

理事
松吉純二
（昭和五十三年舞練一八六期）

八重瀬町新城八七〇
☎〇八〇―一七四三―一五八六

理事
屋島博之
（昭和五十一年生徒二十二期）

豊見城市豊見城三四五―二
ラフィーネシャトレ三〇二
☎〇九〇―一八七二―四〇四九

監事
押川公信
（昭和五十一佐練一七六期）

豊見城市豊見城九六八―五
☎〇九八―八九一―六〇七三

監事
和田修一
（昭和五十二佐練一八三期）

那覇市小禄七八〇
サンハイツ五〇四
☎〇九〇―一三四七―八五八二

# 第5航空群創立52周年記念行事

令和6年10月19日（土）「第5航空群創立52周年記念行事」が行われました。

式典では、招待者を航空自衛隊南西航空音楽隊のオープニング演奏によりお迎えし、国旗・自衛艦旗に対しての敬礼で記念式典が開始されました。

第5航空群司令（海将 平木 拓宏）が式辞の中で、来賓をはじめとするご来場の方々に対し、ご来場のお礼と共に第5航空群の任務に対する日頃からの支援と協力に感謝の言葉を述べられました。隊員に対しては、「我が国を取巻く安全保障環境は、戦後最大の試練の時を迎えており、今ほど、海上自衛隊が創設以来掲げてきた「精強・即応」の真価が問われている時代はない。隊員一人ひとりの仕事が、「精強・即応」の基盤であるという自覚と「誇り」を持ち、訓練精到にして、部隊の精強性と即応態勢の向上に一層、努めていかなければならない。また、より一層の厳正な規律が求められており、国民の疑念を招くような行為はあってはならない。高い緊張感の中で任務や業務を完遂するには、職責に対する「誠実」さも必要である。第5航空群が国民の負託にしっかりと答え、信任を得られるよう、今一度、自らの仕事に「誇り」を持ち、「誠実」に職務の完遂に努めていこう。」と訓示されました。

国旗・自衛艦旗に対しての敬礼

記念式典が終了し、記念行事が開始されるまでの間には、今年度入隊した新入隊員の紹介とその新入隊員による「服務の宣誓」が行われ、将来、海上自衛隊の未来を担う、若き隊員の姿に感銘を受けました。

記念行事では、ダンススタジオ「バンビーノ」のストリートダンスを皮切りに、航空自衛隊南西航空音楽隊による記念演奏、第5航空群隊員による創作エイサーの演舞が行われました。南西航空音楽隊と第5航空群隊員とのコラボによる創作エイサー「ダイナミック琉球」では、サプライズで第5航空群司令が熱唱、会場を盛り上げました。また、エイサー演舞、「唐船ドーイ」には群司令及び各隊司令等も演舞に参加、指揮官と若い隊員とが一緒になって演舞している姿に、第5航空群の団結力及び士気の高さを垣間観ることができました。

群司令式辞

新入隊員による服務の宣誓

南西航空音楽隊による記念演奏

ダンススタジオバンビーノのダンス

隊員によるエイサー演舞

# 首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」に参加して

第５整備補給隊
高橋１士

私は、令和６年11月２日（土）に那覇市国際通りで行われた、首里城復興祭の中の行事の一つである「琉球王朝絵巻行列」に参加しました。

琉球王朝絵巻行列とは、琉球王国時代、中国皇帝の使者として訪れる「冊封使」を迎える儀式を再現した沖縄の伝統行事だそうです。

当日は、初任海士（新入隊員）を中心に、海上自衛隊第５航空群の隊員約40名が、基地周辺住民への広報活動の一環として参加しました。

私は、琉球王国時代の国王が乗る御神輿の札持ちとして水色を基調とした琉球の伝統衣装を身にまとい、国際通りに集まった約３万名の観客の前を粛々と練り歩きました。

教育隊を修業して約３カ月、初めての勤務地である沖縄で、このような伝統行事に参加でき沖縄の文化に触れられこと、また、このような盛大な行事の一員を担えたことを光栄に思い、良い経験となりました。

今後も、地域交流のイベントやボランティア活動に積極的に参加し、海上自衛隊のＰＲも含め、沖縄県民へとの交流を深めていきたいと思います。

# １万飛行時間達成及び最終フライトを終えて

令和６年９月13日（金）第５航空隊第51飛行隊所属の１等海尉上地徹（機上武器員）は、１万飛行時間を達成するとともに最終フライトを終え、令和６年11月１日に１等海尉に特別昇任し定年退官しました。

上地１尉は、平成７年６月２日、第２０６教育航空隊を修業、那覇の第５航空隊、第９航空隊をはじめ、他基地の航空隊も含め、Ｐ－３Ｃ機上武器員として勤務し、海上自衛隊の任務遂行に尽力しました。

最終フライトの当日は生憎の雨模様でしたが、ご家族と第５航空隊司令をはじめ多くの隊員がフライトを終了した上地１尉を出迎え、感謝の気持ちを表わしました。

上地１尉は、「これまでご指導頂いた諸先輩方や同僚、後方支援にあたって頂いた整備補給隊、そして私の仕事を理解し支えてくれた家族があったからこそ、１万飛行時間の達成と最終フライトを無事に終えることができました。私の海上自衛隊における飛行任務に一片の悔いはありません。皆様には心から感謝申し上げます。今後も第５航空隊の武運長久と飛行安全をお祈りするとともに、微力ながら海上自衛隊の更なる発展を応援していきます。」と、熱い思いを語りました。

# 派遣海賊対処行動航空隊（第54次隊要員）帰国行事

令和6年8月9日（金）、第54次派遣海賊対処行動航空隊要員（指揮官 澤畑2佐、以下約50名）の帰国行事が行われました。

約5か月間の任務を終え、遠くアフリカの地から帰国し、家族や隊員に出迎えられた隊員の顔には、無事に日本に帰ってきた安堵感や、長期間の任務をやり遂げたという達成感などが見てとれました。

自衛艦隊司令官（海将 大町 克士）の訓示では、「任務を完遂し帰国した第54次派遣海賊対処行動航空隊指揮官司令をはじめとする諸官を指揮官として出迎えることができ、とても嬉しく思う。」とはじまり、「長期間、家族・友人と遠く離れ、派遣隊員が任務に邁進できましたのは、彼らの高い使命感とともに（ご参列の）皆様の深いご理解と温かいご支援の賜であり、改めまして心から感謝申し上げます。」と述べられました。

# 海上自衛隊 職種紹介

このコーナーでは、海上自衛隊第5航空群において勤務されている隊員及び職種について紹介します。

初めに海上自衛隊は、主として「海」を行動の場としています。周囲を海に囲まれた我が国にとって、海の安全を守ることは非常に重要であり、日夜、日本周辺海域において、警戒・監視活動等に従事し、日本の安全を守っています。また、災害等が発生した際には、艦艇や航空機を派遣し、捜索、救助、救難物資の輸送等を行っています。

今回紹介する職種のほかにも、航空管制員や調理員、電子整備員など、多数の職種があり、全33職種で約50種類の業務が行われています。

その中から今回は、第5航空隊で航空電子整備（搭乗員）として勤務している隊員を紹介します。

**質問事項**

❶ 仕事内容
❷ 将来の目標
❸ これからの将来を決めていく後輩たちへのメッセージ

## 航空電子整備（搭乗員）：第5航空隊　中釜士長

❶『最前線の部隊である第5航空隊で、P-3C哨戒機に搭乗して日々、沖縄近海の監視、警戒監視活動等の任務を行っています。P-3Cには、様々な特殊技能をもった搭乗員が協力して任務を行っているのですが、私の業務内容は水中の音の解析です（「第1、第2対潜員」といいます）。全ての搭乗員が1つとなって任務を完遂させるところにとてもやりがいを感じています。』

❷『現在の資格は、まだ第2対潜員ですが、第1対潜員として、多種多様な任務に従事したり、海上自衛隊だからこそ経験できる海外派遣などの貴重な経験を積み重ねて、どんな困難な任務でも自信をもって完遂できる人材となれるように、日々の訓練に臨む所存です。』

「飛行前点検」

❸『私は学生時代に、進路に悩んでいた時、入隊体験や実際に搭乗員の道に進んだ先輩から話を聞く機会があり、自分も搭乗員として多くの経験をしてみたいと思い、海上自衛隊に入隊しました。

搭乗員への道は、楽しいことだけでなく大変だと思う事もありますが、同期と助けあったり、目標を達成する中で充実感を感じることができます。

将来の進路に悩んでいる方は、ぜひ海上自衛隊に入隊し、搭乗員の仲間になりましょう。』

「海上自衛隊でお待ちしてます。」

# 第５航空隊　「初機長フライト」紹介

海上自衛隊第５航空隊において「初機長フライト」を終えたＰ－３Ｃ哨戒機の搭乗員に感想を伺いましたのでご紹介します。

「初機長フライト」とは、操縦士・航空戦術士が、初めて機長として航空機に搭乗して運航するフライトのことです。初機長フライトに至るまでには多くの訓練を要し、各段階の検定をクリアし、機長として飛行作業に臨むに相応しい知識・技能を備えていると認められなければなりません。そのため、操縦士・戦術航空士にとって「初機長フライト」は、搭乗員人生の中で一つの大きな節目とも言えるフライトになります。

## 第５航空隊第52飛行隊所属　津田　１尉

令和６年７月31日（水）
初機長フライト

まず、ウイングマークを取得してからの大きな目標であるＰ－３Ｃの機長として、無事飛行作業を終えるまで支えて下さった同期、後輩、上司、教官、クルーや整補隊の方々に感謝申し上げます。

６年前に幹部候補生学校を卒業して以来、訓練とはいえ初めて１つのユニットの長として飛行作業に従事する機長の緊張感、クルーの命を背負う大きな責任を身をもって実感いたしました。特に訓練中に予想していない場所に外国の艦艇を発見し、訓練を優先するのかそれとも情報収集を実施するのか判断を迫られる場面がありました。自らが養成訓練で培ってきた知識に加え、経験豊富な他配置からの助言を頂き適切に対処できたことは、CRM（Crew Resource management：搭乗員総員の知識・技能を適切に運用して安全・任務の完遂を図ること）の重要性とクルーとの信頼関係を築くことの重要性を身をもって実感した次第です。無事訓練フライトを終えエプロンに整列し出迎えてくれた５空隊員を見て安心する自分がいました。

先輩に対しては安心して任務を任せてもらえる機長、後輩に対しては一緒に飛びたいと思ってもらえるような安心感をクルーに与えられる機長を目指して今後の養成に励み、航空機搭乗員として国防の最前線で任務に邁進する所存です。

## 第５航空隊第51飛行隊所属　米田　１尉

令和６年８月15日（木）
初機長フライト

幹部候補生学校を修業してから約６年、初機長フライトという、搭乗員としての一つの節目を無事に迎えられたことに喜びを感じるとともに、ここまで支えてくださった先輩方やクルーの方々、また我々搭乗員が存分に訓練に臨む環境を整えてくださったすべての方々に改めて感謝申し上げます。初めての機長としての飛行作業は、自身の処置判断が間違っていないかと何度も心の中で確認し、今まで経験したことのない緊張感を感じました。那覇に着陸し、スポットで諸先輩方や後輩、クルーの方々に祝福を頂いた際は、無事に任務を終えて帰ってくることができたという安堵を感じるとともに、たとえようのない達成感を感じたことを覚えております。初機長フライトは幹部搭乗員としての節目であるとともに、機長としての第一歩でもあります。国防の最前線を担う責任の重さを実感しつつ、今後とも粉骨砕身努力を重ね、国民の負託にこたえることができる自衛官となるべく任務に邁進していく所存です。

## 第５航空隊第52飛行隊所属　関口　１尉

令和６年10月７日（月）
初機長フライト

国防の最前線で航空機搭乗員として任務に携わることが私の夢の一つでした。第５航空隊に着隊後、年数は短いですが、夢の一つを叶えることができました。自衛隊は多種多様な職種があり、隊員も十人十色です。搭乗員においても同様ですが、搭乗員から憧れの存在となるのが機長であり、私もその機長に憧れる搭乗員の一人でした。機長は艦艇と比べると率いる人数が少数ですが、責任感と技量を兼ね備えたリーダーという点では遜色ない配置です。任務においては、機長の背中を見ながら勤務することが多く、いつか私も機長として勤務したい気持ちを抱く一方で、同じように勤務することができるのか不安の気持ちもありました。しかし、今回の初機長フライトを終えて、憧れであった機長の方々の仲間入りをすることができ、私のもう一つの夢を叶えることができました。これまでお世話になった方々へ少しではありますが、恩返しをすることができました。今後は目標とされる機長を目指してさらに精進していきます。

## うちなんちゅ（沖縄出身）隊員紹介

第5航空群司令部　宮里3曹（浦添市出身）

私は、平成27年に海上自衛隊に入隊しました。入隊時の年齢は24歳でした。それまでは県内で、建築関係の仕事をしていましたが、県外への転職を希望しており、自衛隊の就職説明会で、海上自衛隊は県内外で勤務できるということを知り、入隊を決意しました。学生時代から部活動の経験がないため、体力面、集団生活に不安がありましたが、同期隊員と切磋琢磨し教育隊を修業することができました。

現在は、艦艇勤務等を経験した後に、現在の勤務地である5空群司令部へ着任し、通信員として航空機との通信、通信機材の保守整備及びパソコンの整備管理を行っています。

パソコンを介した情報通信が主流となった現在、通信員としての高いスキルが要求されている中で、職場の先輩の丁寧な指導もあり、充実した日々を過ごしています。今後の目標は、部隊に必要とされる一人前の通信員になることです。これからも、日々鍛錬を重ねていきたいと思います。

## 那覇航空基地 親和会クラブ活動紹介

### 野球部

野球部監督 第5整備補給隊 1等海曹 福山 孝夫

那覇航空基地には、仕事の合間の余暇の時間を利用して活動する運動部及び文化部があります。

このコーナーでは、那覇航空基地のクラブ活動について紹介していきます。

今回は、野球部について紹介します。

海上自衛隊那覇航空基地野球部「海自インパクト5（ファイブ）」は、海上自衛隊那覇航空基地の部隊に在籍する隊員28名で構成され、野球部での活動中は階級や年齢に関係なく、楽しく、ときには厳しく、メリハリのある雰囲気の中で、沖縄県内の各種大会の上位進出や「公務員の甲子園」と言われる全国官公庁野球中央大会出場を目標に活動しています。

また、自衛隊員の募集広報につなげるため、一般チームや大学生チームと積極的に練習試合を組み、交流を図ることにも努めています。

昨年は、全国官公庁野球大会沖縄県予選で優勝し、8月に開催された「公務員の甲子園」全国官公庁野球中央大会に、6年ぶり2度目の沖縄県代表として出場しました。結果は、残念ながら1回戦敗退でした。しかし、6年前の初出場の際にはコールド負けを喫したところ、今回は先行されても逆転し、終盤までリードする場面を作るなど、全国大会のレベルでも戦える手応えを感じることができました。敗退後も他チームの試合を見学することで、様々な参考になる部分を見ることができたので、今後のチーム作りに活かして、次こそは全国大会の舞台で初の1勝を目指していきたいと思います。

このように野球活動を通じて、所属や階級を越えて基地内の知り合いが増え、チームメイト間での強固な絆が、職場での良好な人間関係の形成にも寄与しており野球部としての活動の成果として、誇らしく感じています。

今後もより一層、チーム一丸となり盛り上げて活動してまいりますので、応援よろしくお願いします。

# 自衛隊協力者等への感謝状贈呈式

## 防衛大臣からの感謝状贈呈

令和6年10月26日（土）沖縄二火会野澤顧問及び沖縄海友会國吉顧問の「沖縄県における防衛基盤の育成」の功績に対し、防衛大臣（中谷元）から感謝状が贈呈されました。

沖縄二火会 野澤顧問

沖縄海友会 國吉顧問

## 統合幕僚長からの感謝状贈呈

令和6年11月16日（土）沖縄二火会（海上自衛隊第5航空群協力団体）へ、統合幕僚長（陸将吉田圭秀）から「統合運用に係る防衛基盤の育成」の功績に対し、感謝状が贈呈されました。

沖縄二火会代表 佐久本会長

## 海上幕僚長からの感謝状贈呈式

令和6年11月15日（金）沖縄海友会門馬会長及び沖縄二火会新里副会長の「沖縄県における防衛基盤の育成」の功績に対し、海上幕僚長（海将齋藤聡）から感謝状が贈呈されました。

沖縄海友会 門馬会長

沖縄二火会 新里副会長
（代理 新里 亮太 氏）

# 三自衛隊統一募集広報

令和６年８月 21 日（水）～令和６年８月 23 日（金）に陸海空「三自衛隊統一募集広報パワーアドベンチャー」が行われました。
パワーアドベンチャーは、沖縄県内の学生たちに対し、在沖自衛隊について説明することにより、募集対象者に職業としての自衛隊への理解を促進することを目的に行われているものです。

第５航空群では、海上自衛隊の概要説明・航空機見学・隊員との懇談が実施されました。

概要説明では、海上自衛隊の役割、航空機の運用や基地業務に関することなどが説明され、日々の任務を遂行するために、多くの隊員の支援が必要であることに、学生たちも海上自衛隊の活動について理解を深めていました。

航空機見学では、実際に飛行機や搭載装備品を間近で見て、迫力が十分に伝わっていたようです。

今回の隊員との懇談では、懇談の時間が多く設けられ、隊員は自分の入隊の動機や、今の職場環境の様子や体験など、色々な質問の内容に丁寧に話をして、学生たちにも大変好評でした。

# 普天間フライトラインフェア

令和６年 10 月５日（土）10 月６日（日）の２日間、普天間基地において、米海兵隊の「フライトラインフェア」が行われました。

このイベントの自衛隊参加の目的は南西空域における日米同盟の強化を県内外に発信するとともに、県民への理解を深めることです。

当日は、第５航空群所属Ｐ－３Ｃ型航空機の地上展示と隊員による任務・部隊の説明が行われました。会場では様々なフードコートはもちろん、ニューヨークと日本のロックバンドによるライブパフォーマンス、カーショーなどもありました。

航空機エリアでは普段見られない米軍と自衛隊の航空機も展示され、来場者は、思い思いに写真を撮っていました。

イベントの最後には恒例の花火も打ち上がり、非日常を楽しく体験できました。

# 基地・防衛モニター部隊等見学

令和６年９月27日（金）、基地・防衛モニターの部隊見学が行われました。委嘱１年目のモニターは海上自衛隊第５整備補給隊、２年目のモニターは陸上自衛隊第15旅団のそれぞれの部隊の見学が行われました。

第５整備補給隊では、航空機の高所での整備や航空機電子部品のハンダ付などの作業を見学し、大規模な作業を安全に行っていることや繊細で細かい作業に驚いたとの感想が寄せられました。

第15旅団の見学では、不発弾処理の多くの作業が人力で行われること、また、自治体と連携しながら、万が一にも被害を出さないように努力していることについて見学し、改めて感謝と多くの方に知ってもらいたいとの感想がありました。

また、11月22日（金）には、基地・防衛モニター及び沖縄二火会の新規会員等に対し、在沖米海兵隊キャンプ・キンザー施設内にある沖縄戦史資料館及びうるま市勝連の海上自衛隊沖縄基地隊の見学が行われました。

キャンプ・キンザー内の沖縄戦史資料館では、皆さん先の大戦の貴重な資料に興味を惹かれた様子でした。沖縄基地隊の水中処分隊では、海中の爆発性危険物の処分について見学しました。沖縄近海でも先の大戦の機雷等が、まだ、毎年のように見つかっており、爆発性危険物を水中でも処分している現状に触れ、「不発弾処理は終わらない戦後処理」との言葉に、こうした点でも自衛隊がなくてはならない存在だという事を認識したと感想が述べられました。

第５整備補給隊見学

陸上自衛隊15旅団見学

在沖米海兵隊キャンプ・キンザー見学

沖縄基地隊水中処分隊見学

## ◆沖縄二火会ニュース◆ 令和6年度 沖縄県功労者表彰式典

令和６年11月３日（日）に行われた、沖縄県の発展に寄与した人や県民の福祉増進に功績のあった人、県民の模範となる人に対して贈られる、「令和６年度沖縄県功労者表彰式典」にて、沖縄二火会会長の佐久本 武氏が「瑞泉酒造取締役、県酒造組合連合会会長として泡盛業界の発展に寄与するとともに、那覇市観光協会会長、沖縄観光コンベンションビューロー理事を歴任し、観光客の受け入れ体制強化に尽力し、沖縄県の産業、観光振興に貢献した」功績を称え「観光振興部門の功労者」として表彰されました。おめでとうございます。

**編集協力委員**

| | |
|---|---|
| 首席幕僚 | 佐１佐 |
| 広報室長 | 原１尉 |
| 群司令部 | 橋１尉 |
| 5　空 | 那１尉 |
| 5整補隊 | 尾１尉 |
| 那空基 | 川１尉 |
| 広報室 | 田１曹 |
| | 村長 |
| | 北士 |
| | 與平 |
| | 山高 |
| | 今 |

「でいご」に関するご意見、ご感想、寄稿などがございましたら、沖縄二火会事務局または第５航空群広報室までご連絡ください。

■ 沖縄二火会
事務局長　後関　光利
oknikakai@yahoo.co.jp

■ 第５航空群広報室
那覇市当間 252
5aw-5230@ext.mso.mod.go.jp
☎ 098-857-1191（内 5231）

※2023.2.5「沖縄二火会」WEB サイトを公開しました。（https://okinawa-nikakai.com）
※「でいご１２４号」は、令和６年９月から１１月までの行事等を基準に掲載しています。